UNITED SPORTS FOUNDATION

Activities Report 2017

www.unitedsportsfoundation.org

代表メッセージ

「一般財団法人UNITED SPORTS FOUNDATION（ユナイテッド・スポーツ・ファウンデーション）」は、東日本大震災以降、さまざまな支援・貢献活動への関心が高まる中、スポーツを通じて社会貢献することを目的に、2011年9月20日に設立いたしました。

全ての人に勇気や感動を与えることができる「スポーツの持つ力」を再認識し、その魅力をより多くの人に伝えるべく、ご賛同いただいたアスリートの方々、地域、企業の皆さまのご協力のもと、スポーツに触れる機会創出を積極的におこない、人々の心身の健康に寄与することを目指します。

「One World. One Team.」を財団メッセージとし、グローバルな視点でこうした活動を継続的、発展的に運営することで、世界全体のスポーツ文化振興に尽力してまいります。

一般財団法人UNITED SPORTS FOUNDATION
代表理事　諸橋 寛子

財団概要

理　念 | USFを支える3つの柱

1. 社会文化振興に対する貢献
スポーツを通して明るく楽しく健康的な社会の創造発展に貢献します

2. スポーツ文化振興に対する貢献
スポーツの社会公共文化財としての価値を高めスポーツ文化の創造発展に貢献します

3. 将来を担う子どもたちに対する貢献
スポーツを通して健全な心と体を持った子どもたちの育成に貢献します

活動内容 | 3つの理念に基づいた社会貢献活動

○スポーツキャンプ、イベント、クリニックの開催によるスポーツ振興

○スポーツ技術、用品、資金の助成

財団基本データ Organization Data

基本情報 Profile

正式名称　一般財団法人UNITED SPORTS FOUNDATION（USF）
代 表 者　代表理事　諸橋寛子
所 在 地　東京都千代田区
設 立 日　2011年9月20日
メッセージ　One World. One Team.

問い合せ　TEL：03−6854−0001　FAX：03−5282−7653
MAIL：info@unitedsportsfoundation.org
ＵＲＬ：www.unitedsportsfoundation.org

Name　General Incorporated Foundation
UNITED SPORTS FOUNDATION
Representative　Board Chairperson Hiroko Morohashi
Location　Chiyodaku,Tokyo
Date of Establishment　September 20,2011
Message　One World. One Team.

Contact　TEL：03−6854−0001　FAX：03−5282−7653
MAIL：info@unitedsportsfoundation.org
ＵＲＬ：www.unitedsportsfoundation.org

役　員 Board Members

代表理事 Board Chairperson

諸橋　寛子 Hiroko Morohashi
スペシャルオリンピックス日本・福島 副理事長
Vice Chairperson, Special Olympics Nippon, Fukushima
一般財団法人脳神経疾患研究所 理事
Director,Cranial Nerve Disease Research Institute
NPO法人ザ・ファースト・ティー・オブ・ジャパン理事
Director, The first tee of Japan.

理事 Director

ロブ・ラングスタッフ Rob Langstaff
KEEN Footwear VP international
KEEN Footwear VP international

田尻　邦夫 Kunio Tajiri
NPO法人新社会人養成塾BOOSTER 代表
President, NPO BOOSTER
アジアリーグアイスホッケー チェアマン
Chairman,Asia League Ice Hockey

村田　真一 Shinichi Murata
関東学院大学非常勤講師
Adjunct Instructor, Kanto Gakuin University

評議員 Councillor

中野　泰三郎 Taizaburo Nakano
株式会社タイアップ 代表取締役社長
CEO,tieup Co., Ltd.
株式会社エフ・ヴィ・コーポレーション 顧問
Adviser, FV Corporation Co., Ltd.

ジンジャー・グリッグス Ginger Griggs
ASC Leader 社長
President, ASC Leader

種子田　穣 Joe Taneda
立命館大学スポーツ健康科学部 教授
Professor of Sports Business and Management Faculty of Sport and Health Science, Ritsumeikan University

石綿　学 Gaku Ishiwata
森・濱田松本法律事務所 弁護士
Attorney at law,Mori Hamada & Matsumoto

監事 Inspector

小谷野　幹雄 Mikio Koyano
小谷野公認会計士事務所所長
Representative, Koyano Certified Public Accounting Office

賛同アスリート Athlete Endorsers

東 俊介
（ハンドボール）
Shunsuke Azuma (Handball)

荒川 静香
（フィギュアスケート）
Shizuka Arakawa (Figure Skating)

有森 裕子
（マラソン）
Yuko Arimori (Marathon)

池田 信太郎
（バドミントン）
Shintaro Ikeda (Badminton)

伊藤 竜馬
（テニス）
Tatsuma Ito (Tennis)

岩崎 恭子
（水泳）
Kyoko Iwasaki (Swimming)

エディ・ジョーンズ
（ラグビー）
Eddie Jones (Rugby)

大神 雄子
（バスケットボール）
Yuko Oga (Basketball)

太田 雄貴
（フェンシング）
Yuki Ota (fencing)

大山 加奈
（バレーボール）
Kana Oyama (Volleyball)

小椋 久美子
（バドミントン）
Kumiko Ogura (Badminton)

加藤 陽一
（バレーボール）
Yoichi Kato (Volleyball)

佐々木 則夫
（サッカー）
Norio Sasaki (Soccer)

鈴木 明子
（フィギュアスケート）
Akiko Suzuki (Figure Skating)

高橋 大輔
（フィギュアスケート）
Daisuke Takahashi (Figure Skating)

立花 美哉
（シンクロナイズドスイミング）
Miya Tachibana (Synchronized Swimming)

田臥 勇太
（バスケットボール）
Yuta Tabuse (Basketball)

トム・バイヤー
（サッカー）
Tom Byer (Soccer)

永里 優季
（サッカー）
Yuki Nagasato (Soccer)

中西 哲生
（サッカー）
Tetsuo Nakanishi (Soccer)

西村 晃一
（バレーボール／ビーチバレー）
Koichi Nishimura (Volleyball)

平瀬 智行
（サッカー）
Tomoyuki Hirase (Soccer)

吉原 知子
（バレーボール）
Tomoko Yoshihara (Volleyball)

2017年12月31日現在・敬称略、五十音順（As of December 31,2017/Listed in Japanese alphabetical order whith honorifics omitted）

賛同企業 Supporters

2017年12月31日現在・五十音順（As of December 31,2017/Listed in Japanese alphabetical order）

一般財団法人UNITED SPORTS FOUNDATIOのあゆみ（2011年9月-2016年12月）
――2011年9月20日設立

被災地復興支援

震災後、被災地の子どもたちが、アスリートとスポーツをすることで笑顔を取り戻したのを見て、改めて「スポーツの持つ力」について感じました。

■UNITED SPORTS FOUNDATION KIDS PARK

放射能問題により屋外での活動に制限がある福島市の子どもたちに対し、福島県に本社のあるゼビオ株式会社の協力のもと、子どもたちが無料で自由に体を動かせる遊び場を提供し心身の健康促進に貢献、放射能レベルの低下に伴い、2014年に閉館しました。

■震災復興卒業記念野球大会

震災後、県内外各地に避難し離ればなれとなった南相馬市立小高中学校の野球部の生徒に対し、卒業前にもう一度全員でプレイができるようにと震災以前より交流のあった福島市立福島第四中学校野球部と卒業記念野球大会を開催しました。

スポーツ普及・振興

トップアスリートのプレーを見たときの子供達の感嘆、あの感動が物事に興味を持つきっかけ作りになればと、様々なスポーツの観戦ツアーを実施しました。

■小錦×USFキッズ相撲ツアー

元大関の小錦さんとともに、福島県相馬市立飯豊小学校の子どもたちを大相撲観戦に招待しました。子どもたちは本場の相撲の試合を観戦し、さらに観戦後には現役の力士に会うことができました。

■エキサイティング ベースボールツアー

日頃から野球の練習に励む子どもたちを東京ドームでのプロ野球観戦に招待し、代表者が始球式やオンユアマークスに臨んだほか、全員でバックヤードツアーに参加し現役選手との記念撮影も叶いました。

スポーツが生活の中にある豊かさを次世代に伝える財団へ

子どもたちの体力低下・二極化に歯止めを掛け、年齢が小さいうちに本物に触れる機会を創出するため、各種体験会の実施・スポーツキャンプを確立しました。

■USF スポーツキャラバン

基礎体力をつけるために重要であり、全てのスポーツの基本動作となる「走る」とうことを好きになれるよう、簡単に実践できるポイントを伝授するキャラバン活動を続けています。正しく走るフォームを身に付ける「かけっこ教室」と楽しい体力作りを目指す「持久走教室」の二つのアプローチで、運動が苦手な子ども達にも参加してもらえるよう、小学校を訪問し、学年に合わせた指導をおこないました。

■Nā Kama Kai

マリンスポーツ体験を通して、安全に楽しむためのルールや自然の偉大さ、環境を守る大切さを伝えるプログラムです。スタンドアップパドル（SUP）、サーフィン、カヌーといったスポーツで海に親しんだほか、Nā Kama Kaiハワイ代表のデュエイン・デソト氏による海洋講座、水難事故対応策を学ぶ着衣泳などを実施しました。

■2012年 第5回 スペシャルオリンピックス 日本冬季ナショナルゲーム・福島

「心強く、心豊かに、心ひとつに　心うつくしまふくしま」を大会スローガンに2012年　第5回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・福島が開催されました。

当財団は多くの企業・個人の皆さまのご協力のもと、大会運営のためのご寄付をさせていただきました。

■Figure Skating Dream for Kids

USF賛同者でもある荒川静香さんが中心となって企画プロデュースしているアイスショー「Friends on Ice」に協力するとともに、荒川静香さんと髙橋大輔さん等を講師に迎えたフィギュアスケート教室「Figure Skating Dream for Kids」を開催しました。

■all in for the dream　～子どもに夢を～

子どもたちに夢や希望を持って努力することの大切さを伝えたいとの想いから、2012年より継続的に展開しているサッカークリニック「all in for the dream ～子どもに夢を～」。現役プロサッカー選手、元日本代表選手などがサッカーチームや学校を訪問し、デモンストレーションや技術指導などの交流を行いました。

■NBA Care's BASKETBALL CLINIC in 塩竈

元NBA選手の田臥勇太氏の他、元NBA選手でNBAグローバル・アンバサダーを務めるディケンベ・ムトンボ氏、現役NBA選手のコーリー・ブリュワー氏、ウラジミール・ラドマノビッチ氏が来日し、未だ被災の爪痕が色濃く残る七ヶ浜町菖蒲田海岸を視察しました。その後、宮城県塩竈市立第三中学校でバスケットボールを通し、東日本大震災で被害を受けた子どもたちに向けて勇気やスポーツの楽しさを伝えました。

■岩崎恭子 着衣泳体験のススメ

バルセロナオリンピック金メダリストの岩崎恭子さんを講師に迎え、小学生を対象に着衣泳体験会を実施しました。

水着の時と着衣時の違いを体験したうえで、“浮き"として使えるもの（ペットボトル、クーラーボックス、ビニール袋、靴など）を活用して呼吸を確保する方法を学びました。

■USF スポーツフェスティバル

スポーツを始めるきっかけや継続するモチベーションに繋がるよう、初心者向けのクリニックとスポーツ観戦の両方を体験できるイベントを開催しました。それぞれ個性あふれる指導に応え、子どもたちも真剣に練習に励みました。

2017年度の活動実績

○自主事業

スポーツへの興味喚起のために、小学生を中心とした初心者向けクリニックや複数スポーツを体験できる企画を能動的に実践しています。また、成長段階の早期からスポーツに取り組むきっかけ作りとして、身体を動かすことの大切さを実感し、親子で楽しく学べる機会を提供しています。

USF スポーツキャンプ

トップアスリートの直接指導により様々なスポーツを体験することで、競技の多様性に触れ、自分自身の能力や関心を見出す機会提供を目的とした宿泊型スポーツキャンプ。

子どもたちがスポーツを通じて仲間たちと力を合わせる一体感や感動、チャレンジすることや上達することの喜びなどを経験することで、協調性を育み、自主的に考え実行することの大切さを学びます。また、初対面の子ども間、世代や国籍の違うスタッフとの交流を図ることで、ソーシャルスキルを高め、グローバルな視点を養います。

《 スポーツクリニック 》

●サッカー　●バスケットボール　●バレーボール　●テニス
●バドミントン　●卓球　●ラグビー　●セパタクロー
●クリケット　●アルティメット　●キンボール
●フラッグフットボール　●ダンス　●スケート　●ハンドボール

講　師

・大家友和（元メジャーリーガー）
・牛田成樹/西崎幸広/古木克明（元プロ野球選手）
・勝矢寿延/小松原学（元サッカー日本代表）
・長谷川太郎/阿部一樹/野田恭平（元Jリーガー）
・藤井健太（元フットサル日本代表）
・宮ノ腰達也/永田睦子/楠田香穂里
（元バスケットボール元日本代表）
・杉山祥子/山内美加/櫻井由香/坂本清美/高田ありさ
（元バレーボール日本代表）
・田中姿子（元バレーボール日本代表・ビーチバレーボールプレーヤー）
・三宅敬/向山昌利/北川俊澄/霜村誠一/川合レオ（元ラグビー日本代表）
・池田信太朗（元バドミントン日本代表）
・東俊介（元ハンドボール日本代表）
・鷲尾雅子/那須美根子（プロゴルファー）
・矢野順也（元セパタクロー日本代表）

《 アクティビティ 》

●チームビルディングゲーム　●海外ゲーム体験
●パラシュート　●オリジナルユニフォーム作り
●海外スポーツ講話　●英語でエール作り　●野外炊事
●スポーツ大会　●五輪について学ぶ

《 タイムテーブル　※2泊3日例 》

1日目	12:30	受付
	13:00	開会式、アイスブレーカー
	14:00	スポーツクリニック①
	16:00	スポーツクリニック②
	18:00	夕食、入浴
	20:00	オリジナルユニフォーム作り
	21:00	就寝
2日目	7:00	朝食
	9:00	チームビルディングゲーム
	11:00	スポーツクリニック③
	13:00	昼食
	14:00	スポーツクリニック④
	16:00	五輪について学ぶ
	17:00	夕食、入浴
	18:00	英語でチア作り
	21:00	就寝
3日目	7:00	朝食
	9:00	スポーツ大会
	11:00	閉会式、表彰式
	11:30	解散

新しい能力を引き出す複数スポーツ体験

英語で進行するアクティビティで国際交流

【実施】

USF Sports Camp in 茨城 Winter 2017(2017.01.07-08)
USF Sports Camp in 静岡 Spring 2017(2017.03.18-20)
USF Sports Camp in 徳島 Spring 2017(2017.03.28-30)
USF Sports Camp in 千葉 Spring 2017(2017.04.22-23)
USF Sports Camp in 福島 Summer 2017(2017.08.05-07)
USF Sports Camp in 徳島 Summer 2017(2017.08.23-25)
USF Sports Camp in 愛知 Summer 2017(2017.08.23-25)
USF Sports Camp in 福島 こども未来塾 (2017.10.07-09)
USF Sports Camp in 群馬 Autumn(2017.11.03-05)
USF Sports Camp in 滋賀 Autumn(2017.11.18-19)

【後援】

スポーツ庁、茨城県教育委員会、龍ヶ崎市、龍ヶ崎市教育委員会、
静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会、
御殿場市、御殿場市教育委員会、徳島県教育委員会、海陽町、
千葉県教育委員会、東金市教育委員会、福島県、
福島県教育委員会、郡山市、郡山市教育委員会、
愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、豊田市教育委員会、
群馬県、群馬県教育委員会、前橋市、前橋市教育委員会、
高崎市教育委員会、太田市教育委員会、伊勢崎市教育委員会、
桐生市教育委員会、館林市教育委員会、渋川市教育委員会、
藤岡市教育委員会、みどり市教育委員会、安中市教育委員会、
沼田市教育委員会、富岡市教育委員会、京都市、
京都市教育委員会、滋賀県、滋賀県教育委員会、草津市、
草津市教育委員会

【協力】

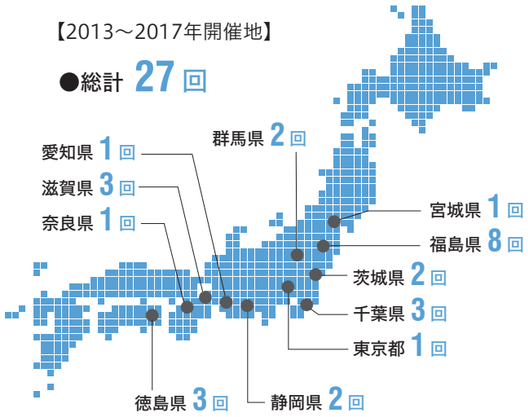
公益財団法人東日本大震災復興支援財団
※USF Sports Camp in 福島 Autumn は、「福島こども未来塾」への参加事業です。

独立行政法人日本スポーツ振興センター
※USF Sports Camp in 徳島 Spring / 徳島 Summer / 愛知 Summer / 滋賀 Autumn は、スポーツ振興くじの助成事業です。

独立行政法人国立青少年教育振興機構
※USF Sports Camp in 静岡 Spring / 千葉 Spring / 福島Spring / 群馬 Autumn は、子どもゆめ基金の助成事業です。

【旅行・実施】株式会社 孫の手

【2013～2017年開催地】



○インターンシップ

立命館大学、流通経済大学と連携し、プロジェクト型インターンシップの実施をおこないました。参加した学生たちは、企画立案、運営、予算管理など、イベント実施に必要なすべての過程を経験しながら、スポーツマネジメントを学びました。

USF Sports Camp in 茨城 Spring 2017
USF Sports Camp in 滋賀 Autumn 2017

全体 企画、予算計画、資金管理、自治体への協力依頼、参加者募集、メディア対応といった一連の過程からイベント運営が学べるようカリキュラムを組み、スポーツマネジメント、スポーツイベント運営に関心のある学生たちが参加。実務を通して、責任を全うすることの大切さを学びとりました。

【協力】流通経済大学 スポーツ健康科学部
立命館大学 スポーツ健康科学部

USF おやこスマイル教室

スキンシップをとりながら身体を動かすことを楽しみ、豊かなコミュニケーションを築く親子プログラム。子どもたちの基本動作の発達に役立つ運動系プログラムと、想像力や表現力を育成する情操系プログラムの双方からアプローチし、身体と心の発育を後押しします。

また、保護者向けには現役医師などによる講座を開催し、日頃の子育てのアドバイスやヒントを得られるほか、保護者同士のつながりを築ける機会を創出します。

2017.02.11　東京

【後援】中央区教育委員会

《 アクティビティ 》

運動系プログラム

●おや子ダンスプログラム

手をつなぐ、タッチ、ハグなど、親子で一緒に体を動かして、運動神経やバランス感覚の発育を促し、親子のコミュニケーションを深めます。

情操系プログラム

●なりきりプログラム

元宝ジェンヌが講師を務めるエンターテインメント教育。童話の登場人物になりきり、映像と歌やダンスで物語を進行し、子どもたちの創造力・表現力・考える力を育成します。

保護者向け講義

●En女医会による子育て講座

150人以上の女性医師が参加し、さまざまなかたちでボランティア活動をおこなう「En女医会」と連携し、現役医師による子育てに役立つ専門的なアドバイスの場を提供します。

○BOKSプログラム普及活動

子どもたちの運動を習慣づけるため、BOKSプログラムの普及促進活動をおこなっています。

アメリカのBOKSファウンデーションと連携して日本向けにプログラムのカスタマイズを進めたマニュアルを作成し、行政や教育機関などにも紹介しています。

BOKSプログラム

“BOKSプログラム”は、幼稚園や学校の授業がはじめる前におこなうアメリカ生まれの知育運動プログラム。年齢や運動能力にかかわらず、楽しく運動できるというのが特徴です。

アメリカでは「ゼロ時間目のプログラム」として展開され、一定の効果をあげており、ハーバード大学のジョン・J・レイティ博士が推奨しています。

USFでは、各学校や団体が自主的継続的に“BOKSプログラム”を運用していけるようインストラクターの派遣や体験会、研修会などのサポートを続けています。

〈 幼稚園・保育園・小学校などでの体験会の実施 〉

子どもたち向けに体験会を実施し導入を検討いただくとともに、先生方への研修などをおこなっています。

〈 各種イベントでのPR活動 〉

イベント時のコンテンツとしてPR活動をさせていただき、保護者の方への理解促進を図っています。

【協力】リーボックジャパン

〈 BOKSプログラムの効果 〉

運動不足解消と運動能力向上

適度に身体を動かすことによって運動不足が解消され、普段使わない筋肉を使うことにより強い筋肉や柔軟性といった体力、運動能力の向上が図れます。

脳の働きの活性化と最適化

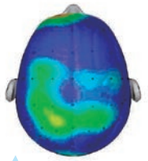
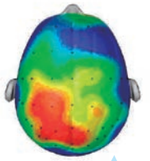
運動することによって脳の働きが活発になり、学力が身につきやすい状態に変わることが期待されています。

ストレス解消とメンタルコントロール

アメリカの調査で、身体を動かすことがストレス解消につながり、運動後には子どもたちに集中力や落ち着きが出たとの効果が報告されています。

コミュニケーション能力と協調性

互いに声を変え合ったり、チームで協力したり、触れ合ったりするプログラムで、楽しみながらコミュニケーションの向上が図れます。

静かに座っている時の脳　　20分ウォーキングした後の脳

※イリノイ大学チャールズヒルマン博士による調査結果より

運動後の脳は活発に機能する

ジョン・J・レイティ博士
医学博士、ハーバード大学
医学部臨床精神医学准教授

カナダアルバータ州、アメリカユタ州のウェルネス・アドバイザーを務めるなど、スポーツ関連の活動も精力的に取り組んでいる。

○共催事業

実際にスポーツをすることだけでなく、応援したり、支えたりすることで感動を共有できるのもスポーツの魅力です。プロチームの試合観戦などトップアスリートのプレイに触れることも大切だと考え、活動に共感いただける企業・団体とタイアップしたスポーツツアーや教室なども実施しています。

USF野球教室

憧れのプロ、元プロ野球選手との触れ合いを通じて、子どもたちに夢や目標をもって努力することの大切さを伝え、上達する楽しみや達成感を得られるレッスンプログラムを開催しました。

実技講習では、DeNA 石川雄洋内野手、下園辰哉外野手、西武で活躍した元プロ野球投手の石井貴氏が特別講師を務めてくださり、150 人の小・中学生球児に、少年時代に実践していた練習方法等をご教示頂きました。

また、午後には、リオオリンピックの選手村で食のサポーターとして活躍された味の素株式会社の日置氏より、食育セミナー「勝ち飯」について講習頂き、世界で勝つためのスポーツ栄養プログラムを学びました。

2017.01.14　神奈川

【協力】味の素

USFフットサルクリニック&アカデミー

フウガドールすみだ　春木啓佑選手、ペスカドーラ町田 伊藤圭汰選手、府中アスレティックス 関尚登選手・山田正剛選手による「フットサルクリニック」、元フットサル日本代表の藤井健太氏による「フットサルアカデミー」を行いました。

クリニックによる技術指導だけでなく、プロになるために必要な日々の練習やマインド、また練習試合ではプロと一緒にプレーを行い、技術力の高さを体感しました。

2017.10.14 / 2017.10.19　東京

【協力】日本フットサルリーグ / プーマ ジャパン株式会社

Exciting Football School&サッカー日本代表戦観戦ツアー

プロスポーツの試合観戦で会場の一体感や高揚感を味わったり、トップアスリートのパフォーマンスに触れ夢や希望を抱くことでスポーツの魅力を再発見できるよう、サッカー日本代表観戦とサッカー教室を組み合わせたスポーツツアーを福島県・埼玉県の少年サッカーチームを招いて実施しました。

クリニックでは、フリースタイルフットボール界のパイオニアでリフティングギネス世界記録保持者でもあるWasse（ワッセ）氏がゲストとして登場。代名詞であるリフティングの披露に魅了されたサッカー少年たちに、ボールタッチの極意を指南したり、一緒にミニゲームに参加したりして親睦を深めたほか、一つのことを極めるために努力することの大切さを語ってくれました。

その後、埼玉スタジアムにて、サッカー日本代表VSオーストラリア戦を観戦。プレゼントされたお揃いのTシャツで一丸となって熱い声援を送り、2対0で勝利。2018年のロシアワールドカップ出場決定の瞬間を目にすることが出来ました。

2017.08.31　埼玉

【協力】アディダスジャパン株式会社

アスマッチプロジェクト

東日本大震災から6年が経過し、ボランティアや支援が縮小傾向にある中、スポーツや芸術などの文化・教育支援の分野において、専門性の高い指導を受ける機会を継続的に提供することで、子ども達の夢を追いかける気持ちをサポートできるよう、年間を通して4回の教室を実施しました。

サッカー教室の講師には、元サッカー日本代表三浦淳寛氏や元フットサル日本代表相根澄氏を迎え、フリーキック練習用のボールを活用した指導や、ハイスピードカメラを用いた子どもたちのキックフォーム映像解析などによる指導を行いました。

また、本年度より、マック鈴木氏による野球教室を開催。元メジャーリーガーから、プレーだけでなく、日々の私生活での感謝、夢を実現するために大切なことを学びました。

2017.06.27/07.09/11.04/11.11　福島

【後援】郡山市

公益財団法人東日本大震災復興支援財団

※アスマッチプロジェクトは、「東北『夢』応援プログラム」への参加事業です。

アスマッチプロジェクト

アスリートと地域（街）をつなげ、スポーツの力で地域を元気にすることを目的に、スクールコンテンツや健康イベントなどを通してアスリートの高い経験とノウハウを街に還元していくプロセスです。

ASU MATCH　スポーツ×地域の健康創出プロジェクト　アスマッチプロジェクト

東北『夢』応援プログラム

情報通信ツールやトレーニング管理のノートを活用した遠隔指導と達成度を報告するイベント参加などを通して、東北の子どもたちが1年間プロコーチなどからスポーツ指導を受講できるプログラム。

夢　東北"夢"応援プログラム

○スポーツ活動・スポーツチーム支援

スポーツ振興を目的として年間計画のもと継続的に実施されるプログラムや、スポーツチームが競技振興や地域交流を図るためにおこなう活動に対し、通年でのサポートをしています。活動理念の親和性や共感性のある活動には積極的に協力してまいります。

バスケキッズフェスティバル

全国47都道府県でバスケットボールの普及と発展を推進する「バスケキッズフェスティバル」のオフィシャルパートナーを務めています。元日本代表選手を中心に第一線で活躍した選手たちが講師となる「クリニックフェスティバル」は、初心者向けの1DAYクリニックが受けられるほか、保護者や指導者向けに正しいシューズの選び方講座や障害予防のためのテーピング講座などが開かれます。また、より幅広い年齢層の子どもたちが楽しめるように企画された「オープンフェスティバル」では小さな子でも参加できるバスケットボールアクティビティーを多数用意し、親子で楽しめるコンテンツが多彩です。

2017.1-12 全国

バスケキッズフェスティバル

“バスケットボールの楽しさを一人でも多くの子ども達に”の想いからスタートしたバスケットボール普及活動。「与える・伝える・広げる・続ける」をモットーに全国で展開しています。

【協力】クロススポーツマーケティング株式会社

The First Tee

1997年アメリカでスタートしたこの活動は全世界200以上の支部、700以上の施設で累計1,000万人以上の子どもたちが参加しており、ゴルフを通じてナイン・コア・バリュー（9つの価値）を教え、子どもたちの健全な心身の成長に寄与する教育プログラム。ゴルフの上達だけでなく、品格や知性のある大人になるために思いやりや礼儀などを学ぶことを重視するこのプログラムに共感し、USFではザ・ファースト・ティ・ジャパンと協力して活動しています。今後の拡大を図るために、全国の開催施設との連携を深めるほか、現在はプログラム認知のためのイベントや体験会の実施やインストラクター養成にも注力しています。

2017.01-12　岩手、福島

The First Tee

子どもたちにゴルフを通じて人格形成と人生に充実感をもたらす多様な価値観を促進する学習施設と教育プログラムを提供し、「ライフスキル（生きていく上で必要な能力）」や人生の価値を教えるプログラム。

【協力】特定非営利活動法人ザ・ファースト・ティ・オブ・ジャパン

ファーストティーの名誉会長、ジョージ・W・ブッシュ元大統領。

アニカ・ソレンスタムをはじめ、多くプロゴルファーがこのプログラムを支援しています。

USF スポーツ！運動！体験会

地域交流を通じて地域の活性化を目指すTSR（Team Social　Responsibility）活動に力を入れているアイスホッケーチーム「東北フリ―ブレイズ」と連携し、保育園訪問とスケート教室を「USFスポーツ！運動！体験会！」と称して実施しています。保育園訪問では、USFが普及推進するBOKSプログラムを選手がインストラクターとなっておこなうほか、フロアボールにチャレンジ。スケート教室では、初心者向けには基本的な姿勢の指導やスケーティングゲーム、経験者にはスピードの乗せ方や具体的なテクニック指導などをおこなっています。

2017. 10-12　青森

東北フリーブレイズ

福島県郡山市・青森県八戸市をホームタウンに、アジアリーグアイスホッケーに所属するアイスホッケーチーム。氷上を「自由自在」に翔けあがり、氷上を「鋭く」切り拓いていくチームをコンセプトに活動中。

【協力】東北フリーブレイズ

スポーツイベント等への支援活動 2017年実績

- 「子供達に笑顔を！」プロジェクト（2017. 02. 20）
- Walk in Her Shoes 歩く国際協力（2017.03.08）
- メッセージ・フロム・愛知 中西哲生サッカークリニック（2017.07.30）
- のりさんSOCCER SUMMER CAMP（2017.08.07-10）
- 第3回全日本ダンス教育指導者　指導技術コンクール（2017.12.05）
- みやぎジュニアトップアカデミー（2017. 01-12）

福島こども未来塾

子どもたちの学びと育ちを幅広い分野で支援し、将来の福島を担う人材を育成する「福島こども未来塾」。通年展開される「福島こども未来塾」に参加し、「こども力」を高めるプログラムの一つとして、USF Sports Campを福島で実施しました。

2017.10.7-9

未来や自分の気持ちを表現する力
未来をみんなで協創する力
未来に向けて行動する力

活動総括 (2017年1月-12月)

スポーツ庁の後援事業として2013年から開催している「USFスポーツキャンプ」も通算で27回を数え、宮城県、福島県、群馬県、茨城県、千葉県、東京都、静岡県、愛知県、滋賀県、奈良県、徳島県と活動場所を拡大。内容についても五輪教育を取り入れるなどコンテンツを向上して開催することが出来るようになりました。また、共催事業については、ご協賛企業のお力もお借りし、多くの子供たちにスポーツの素晴らしさを伝えることができました。USFの活動にご支援、ご協力いただきました企業、団体、地域、アスリート、ボランティアの皆さまに心より感謝申し上げます。

2017年度のあゆみ

1月

●USF Sports Camp in 茨城
●USF野球教室

2月

●おやこスマイル教室
●「子供達に笑顔を！」プロジェクト

3月

●USF Sports Camp in静岡
●USF Sports Camp in 徳島
●Walk in Her Shoes 歩く国際協力

4月

●USF Sports Camp in 千葉

6月

●相根澄氏によるサッカー教室

7月

●三浦淳寛氏によるフリーキック教室
●メッセージ・フロム・愛知
中西哲生サッカークリニック

8月

●USF Sports Camp in 福島
●USF Sports Camp in 徳島
●Exciting Football School
Presented by adidas&
サッカー日本代表戦観戦ツアー
●のりさんSOCCER SUMMER CAMP

9月

●USF Sports Camp in 愛知

10月

●USF Sports Camp in 福島（福島こども未来塾）
●Fリーガーによるフットサルクリニック
●USFフットサルアカデミー

11月

●USF Sports Camp in 群馬
●USF Sports Camp in 滋賀
●相根澄氏によるサッカー教室 in 福島
●マック鈴木氏による野球教室 in いわき

12月

●第3回全日本ダンス教育指導者 指導技術コンクール
●頑張れ東北！チャリティーセミナー

通年

●BOKSプログラム
●バスケキッズフェスティバル
●USF スポーツ！運動！体験会
●The First Tee
●宮城県ジュニアアスリート育成事業

○事務局トピックス

日頃の活動のほか、志をともにするプロジェクトへの参加や広報・講演活動をおこなっています。

SPORT FOR TOMORROW

日本国政府が推進するスポーツを通じた国際貢献事業であるスポーツ・フォー・トゥモローのコンソーシアム会員として活動し、USF Sports Campが認定事業として承認されました。

2017. 01-11

講演・セミナー

USFの活動を広く知っていただくために、講演活動やセミナーの実施をおこなっています。非営利組織の立場から社会課題の提起や解決策を提案してまいります。

●第13回頑張れ東北！チャリティーセミナー(2017. 12. 04)
●日経 地方創生フォーラム(2017. 12. 11)

◆ご支援・ご協力のお願い

USFは、皆さまのご寄付や企業のサポートによって支えられている 非営利組織です。
スポーツを通して地域の活性化、健全な心身育成、文化の醸成、発展に寄与すべく、さまざまな活動をしてまいります。
パートナーとなっていただける皆さまのご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

○寄付によるご支援 HP (www.unitedsportsfoundation.org) より、寄付申込用紙をダウンロードいただき、必要事項を記入のうえ、指定の銀行口座へお振込みをお願いいたします。

○募金箱の設置 お店やイベント会場、会社などにUSFの募金箱を設置してくださる方を募集しています。

○物品のご提供 スポーツを頑張る子どもたちへのプレゼントや、各種イベントでのスポーツ用品の提供なども募集しています。

○ボランティアへの参加 USFのスポーツイベントを一緒に盛り上げてくれるボランティアスタッフを募集しています。

USFの活動はホームページで随時発信しています

www.unitedsportsfoundation.org

- カレンダー機能で活動情報を検索できます
- USF Sports Campの概要を動画で紹介しています
- facebookと連動して情報発信しています
- アスリートのインタビューを掲載しています
- 企業インタビューや対談記事を掲載しています